

東本郷地区地域福祉保健計画 の意見交換会の意見をまとめてみました。 どうぞお読み下さい！



地域福祉保健計画地区意見交換会って？

平成17年度に作成される地域福祉保健計画を「できるだけ地域の意見を吸い上げて現実的な計画にしよう」という趣旨で緑区内11地区で開催しました。

東本郷地区はいつどこで行われたの？

平成16年9月25日(土) 10月2日(土)の2回東本郷地域ケアプラザで行いました。

だれが何人集まって話し合われたの？

1回目48名 2回目40名 一般住民の方や地域の様々な立場の方が参加しました。
(別にスタッフは策定委員、ケアプラザ職員、区職員約10名参加)

どんな話し合いがすすめられたの？

1, 2回とも10人程度のグループに分かれて

1回目は地域で困っている様々な問題、課題をあげてもらいました。

2回目は1回目で出てきた問題を具体的にどんなアイデアで解決できるかを話し合ってみました。その結果次のような地区の将来像とキャッチフレーズが提案されました。

東本郷地区キャッチフレーズ

触れ合って声掛け合って笑顔の街東本郷

みんなで支えあう高齢者にやさしい街

助け合いの街、東本郷

あいさつのできる街づくり

老若男女が健康で安全で安心して楽しく暮らせる明るい街ヒガホン

人と人がつながる街「ヒガホン」 (*ヒガホンとは東本郷の略称です)

これからどうやって計画を作って行くの？

17年度初めに緑区の素案を作り、再度東本郷地区でも意見交換会を開催するなど、ご意見をいただき、17年度末に最終計画をまとめて公表します。

子どもや青少年を地域で健全に育むアイデア

～次世代育成支援～

困っていること

- ・ 転入してきた母子が多く、遊び場や遊び相手で困っている。
- ・ 中高生が公園にたむろするなどマナーが悪い。みんなが遊べる公園に。
- ・ 中高生とふれあう場面が少ない。(運動会・盆踊りなど機会が少ない)
- ・ 虐待ではないか?と思うお宅がある。



こんなアイデアが出ました!

- ・ 老人会・子ども会・学校などとのタイアップ行事(清掃活動など)を行い、世代交流を図る。
- ・ 自治会や民生・児童委員,老人会、子ども会での実践例について、情報交換できる仕組みづくりを行う。
- ・ 子育て支援の指導的立場の人を育成する。

高齢になっても障害があっても、共に暮らせる街作りのアイデア

～健康づくり・福祉の理解と支援～

困っていること!

- ・ 一人暮らし高齢者・高齢者夫婦の災害など緊急時の対策。
- ・ 高齢者を悪徳商法から守るには?
- ・ 健康づくりスポーツの指導者が地域に欲しい。
- ・ 養護学校と地域が定期的に交流する場が欲しい。
- ・ 親が送迎できない障害者への対応がない。
- ・ ボランティア活動を活発にしたい。



こんなアイデアが出ました

- ・ 声をかけ、あいさつをする街づくりにより、高齢者や一人暮らしの人も安心な地域を実現すれば、防犯にもつながる。
- ・ 送迎や余暇支援活動へのボランティア参加を呼びかける。送迎のためのミニバス運行を早期実現したい。

緊急時に地域ケアプラザを拠点とした身近な人が助けに行けるシステムを確立する。

地域の交流を深めることにより地域活動を活性化し、つながりを強くするためのアイデア ~地域力を高める~

困っていること

- ・ 地域の情報が身近に得られない。
- ・ 地域の行事への参加者が少ない、関心も薄い。
- ・ 自治会と各種団体の連携が足りない。

こんなアイデアが出ました！

- ・ 東本郷全体で情報を共有できるようなタウン誌を作る。
- ・ 自治会加入や行事への参加呼びかけ、ケアプラザのPRを強化する。
- ・ 参加者の興味をひく多様な行事（歩こう会、写真、スケッチ、花作り等）を行う。
- ・ 自治会で各種のボランティアを募集し、リーダーとして取り組んでもらうことにより、サークル活動等も活性化する。
- ・ 連合自治会が主体となり、全ての自治会に働きかけ、繰り返し回覧や口コミ等で情報を流したり、呼びかけを行うことにより、自治会同士の交流が活発になり、自治会の枠を越えているいろいろな行事に参加できるようになる。
- ・ 地域情報はボランティア等の福祉活動の他に、公園での散歩や体操、愛犬グループ等のつき合いや同好会で得ることも多いため、それらのネットワークもうまく利用する。
- ・ あいさつが全ての課題解決の糸口。



いざという時頼りになる街のアイデア ~防犯・災害対策~

困っていること

- ・ 日中は高齢者や母子だけになるので防犯が心配。
- ・ 街灯が少なく、夜暗いところが多いので危険。
- ・ 災害時のひとり暮らし高齢者への対応が心配。

こんなアイデアが出ました！

- ・ 防犯パトロールの実施。公園のトイレや違法駐車車両、街灯のない暗い夜道等を定期的に見回る。犬の散歩やウォーキングをしている人に腕章を付けて巡回してもらう。
- ・ 緊急時の高齢者対策として、地域ケアプラザの支援センターを拠点とした、より身近な人が助けに行けるチームを作るなどシステムを確立する。
- ・ 就園児と親が警察や消防等の専門家の話を聞いたり意見交換会をする。
- ・ 地域全体での会合を持ち、住民同士の関係を密にする。普段から声をかけ合う。
- ・ 近所で見知らぬ車、人が気になる時は「どこかお探しですか？」と声をかける。



誰もが安心して出かけられるためのアイデア

～移動手段の確保・バリアフリー～

困っていること

- ・ 高齢者、子ども、障害者にやさしい環境整備が足りない。

こんなアイデアが出ました！

- ・ ミニバスは、便利なだけでなく、地域の人たちがお互いの顔を知るよいきっかけになるため、早期に実現したい。
- ・ 送迎やミニバス等、地域のボランティアなどがヘルパー業務以外の家事支援や外出時の手助けを行うことにより、高齢者等が外出しやすくなる。
- ・ 町づくり委員会でのミニバスの早期運行の実現に向けて努力する。



子どもからお年寄りまで地域で気軽に集まれる「場づくり」のアイデア ~地域の拠点づくり~

困っていること

- ・ 定年後の男性が地域に出てこない。集まる場所がない。
- ・ 地域の行事を工夫し、活発にしたい。
- ・ 地域活動やボランティア活動の拠点、情報交換の場がない。

こんなアイデアが出ました！

- ・ どんな地域活動サークルがあるのか広報し、既存の同好会や付き合いグループの輪を広げて行く。
- ・ 「ここに来れば何かわかる」という情報の拠点を作る。
- ・ 自治会や老人会、子ども会での実践例について情報交換できる場を作る。老人会と子供会等世代を越えた会でタイアップ行事を行う。
- ・ 地域や学校のイベントでのふれあいを大切に、広く地域に呼びかけ、ネットワーク作りを行う。
- ・ ホームページなどを活用し、緑区内のお祭や盆踊りの開催日時を広報する。
- ・ 組織的世話人を作るとともに、少人数でも考えられる可能な限りの場を作り、それに参加できるようにする。
- ・ 若い人から高齢者までが何でも良いから町のことに参加できるよう、時間や日程の決め方を工夫する。
- ・ 定年後の男性、元気な高齢者に地域の人材として活躍の場を探す。
- ・ 若い世代の中で、スキルのある人、隠れた人材を発掘する。



*紙面に限りがあるため、出された全てのご意見を掲載できません。ご了承下さい。